

令和7年度 環境技術研究開発事業

事業名	事業概要
ウニ類の個体群管理による水俣地域の藻場再生の試み:藻場の生態系サービス創出	○水俣湾における藻場の減少に対し、連携法人等が中心となって藻場再生事業を進めてきた。これまでの事業では科学的な根拠が十分ではなかったため、本研究開発事業により不足する科学的知見を補完し、持続可能な藻場再生を目指す。 ○水俣湾の磯焼けの原因と考えられるウニについて、藻場が持続できる個体数を試算する。また、海藻・付着生物の種組成、現存量や藻場を支える栄養塩の供給源として、水俣湾に特徴的な海底湧水を含め総合的に評価する。
地域農業課題と国策に対応する「デコボン冷暖システム開発」	○農業従事者の担い手不足や農家の収益低下といった地域農業課題に対し、脱化石燃料であるヒートポンプの活用やIoT制御機能と連携したデコボン栽培における生産量増加等に貢献する冷暖システムの開発に取り組む。 ○ヒートポンプがつくる冷暖熱は、従来と比べ、ハウス内の加温に要するランニングコストが低減されることや、IoT制御機能によるハウス内環境の自動最適化により、デコボン農家の収益改善及び農作業の負荷軽減が期待される。 ○また、本研究は芦北高校と連携し、同高校敷地内の未利用ハウス施設を利用し、同高校の生徒が授業の一環として実施することから、若い世代の人材育成にも貢献する。